

令和7年度 自己評価書・関係者評価書

学校名 泉小中学校

■ 4 - そう思う ■ 3 - どちらかといえばそう思う ■ 2 - どちらかといえばそう思わない ■ 1 - そう思わない

学びに満足

意欲的な学習態度

個に応じた指導

授業作りの工夫

1

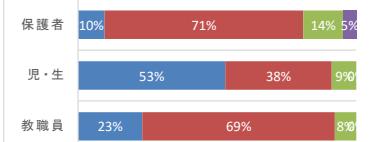
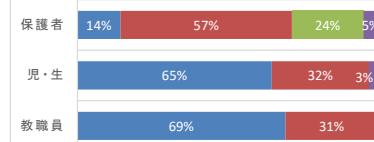
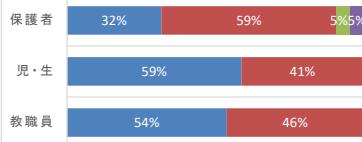
2

3

子供は、やる気をもって授業を受けることができていますか。

子供は、わからないことがあれば何とか解決しようと粘り強く努力していますか。

子供は、授業の中で、自分の考えをもち、意見交流しながら考えを深めることができますか。



読書活動の推進

ふるさとへの誇りと継承

家庭学習の連携

4

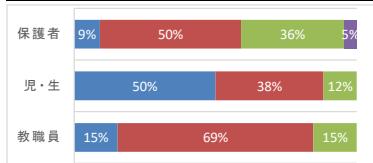
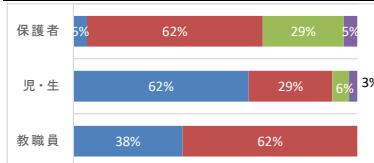
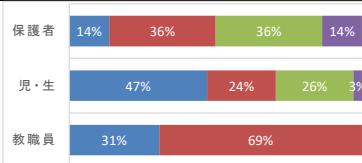
5

6

子供は、目標とする冊数をめざして進んで本を読んでいますか。（小1、2…100冊 小3、4…80冊 小5、6…60冊 中…30冊）

子供は、泉町の昔のことや仕事のこと、伝統文化について関心をもっていますか。

子供は、自分自身にあった時間や内容の家庭学習を行っていますか。



・1、2、3、6、児童生徒は意欲的に授業に参加しており、分からぬことに対して粘り強く挑戦する努力を行っていると答えている。このことは教職員も同様である。しかし、保護者の意見は昨年度同時期からは大幅に改善しているものの、意欲的な学習(R6:16%⇒R7:10%)や粘り強く努力する力(R6:58%⇒R7:29%)に一定数の保護者が課題を感じている。家庭学習については、41%の保護者が課題を感じていることから、授業中の状況についても同様に不安を感じているものと考えられる。授業の中での主体的な学びについては、児童生徒9%、教職員8%が課題と捉えており、家庭学習の取組の工夫と主体的な学びについて、より一層の研究・改善が必要である。

・4、ハッピーブック運動の達成度は、10月21現在で小27.3%、中13.3%である。さらに、家庭で読書する機会の啓発を進めていく必要がある。

・5、泉町のことや伝統文化に関心を持っている児童生徒は91%である。体験活動や伝統芸能、日常生活で、児童生徒が泉町の良さを感じる機会を一層推進させたい。

いのちに満足

一人一人の児童の尊重

道徳、心の教育の充実

いじめ・不登校の防止

7

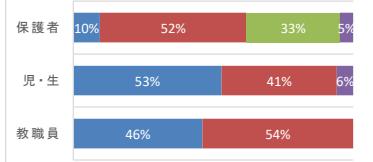
8

9

子供は、生活の中で友達と認め合ったり、支え合ったりすることができている。

子供は、日常生活の中でお互いに意見を出し合い、話し合いをすることができていると思いますか。

子供は悩みや困ったことがあったとき、気軽に相談したり、困っている友達に進んで声をかけたりしていますか。



基本的生活習慣と体力向上

健康教育の充実

食育の推進

10

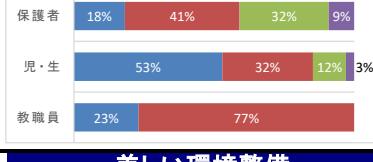
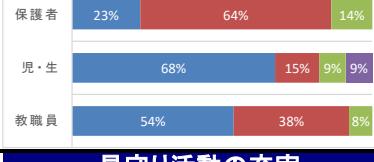
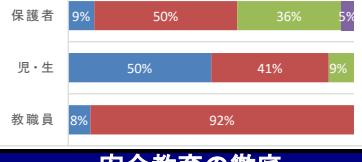
11

12

子供は、自分の生活習慣や体力の状況を知り、改善しようと努力していますか。

子供は、むし歯の予防や治療を心がけていますか。

子供は、自分自身の食生活について関心があると思いますか。



安全教育の徹底

見守り活動の充実

美しい環境整備

13

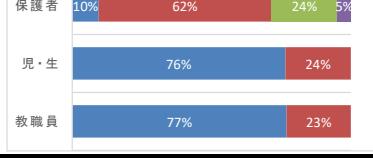
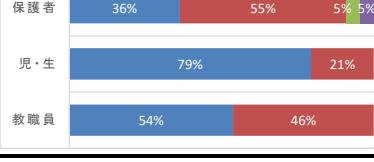
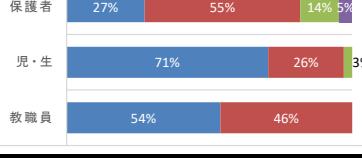
14

15

子供は、危険を察知し、事故やケガを回避しようと心がけていますか。

子供は、多くの人に見守られて安全に登下校できていますか。

子供は、美しい環境づくりに自ら取り組んでいますか。



令和7年度 自己評価書・関係者評価書

学校名 泉小中学校

■ 4 - そう思う ■ 3 - どちらかといえばそう思う ■ 2 - どちらかといえばそう思わない ■ 1 - そう思わない

7、友達と認め合い支え合うことについては、児童生徒、保護者、教職員とも肯定的に捉えている。今後も継続して取り組みを進めていく必要がある。
 8、児童生徒の児童生徒同士で表現できる場の設定や教育相談体制の充実等を進めていることから、児童生徒や教職員の意見は肯定的である。しかし、お互いに意見を出し合うこと、悩みを相談すること、困っている友達に声をかけることについて、保護者の否定的意見が多い。
 10、11、12、生活習慣・むし歯の予防・食生活への関心について、保護者の否定的意見がある。これらについては、保護者と学校が連携して取り組みを進める必要がある。いすみん大作戦で保護者への啓発等を行っているので、継続して取り組みを進めていきたい。
 13、安全教育については、避難訓練やシェイクアウト訓練等引き続きあらゆる場面で指導を継続していく。
 14、安全な登下校について、地域の方々に毎日見守りを行っていただいているが、不安を感じている保護者もいる。今後も学校、保護者、地域が協力して安心安全な登下校を目指して取り組みを進める必要がある。
 15、環境整備については、保護者の否定的意見が多い。学校での活動の様子をお知らせしていくと同時に、学校と保護者が協力して、同じ目線で児童生徒の環境整備意識の高まりに向けた取り組みを進める必要がある。

くらしに満足

自己有用感を育む児童会・生徒会活動の充実 / 体験や社会交流活動の推進 / 地域との連携強化・充実

16

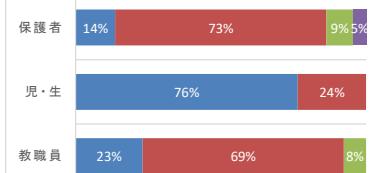
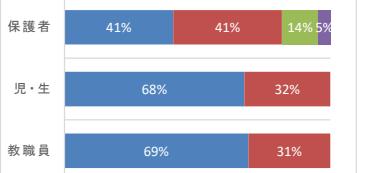
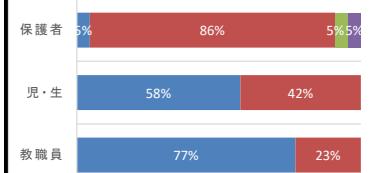
児童会・委員会・生徒会は、活動が充実していると思いますか。

17

子供は、体験活動や交流活動に楽しそうに参加していますか。

18

子供は、地域の方々に感謝の心をもってあいさつができますか。



積極的な情報発信

19

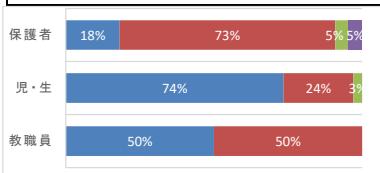
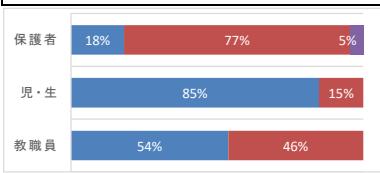
子供や学校は、ふるさと泉のよさを知ったり、伝えたりしていますか。（学校：学校だより、ホームページ等）

20

学校は、義務教育9年間を見据えた指導を行っていますか。

21

学校は、少人数の学びの良さを生かして、子供たちへの効果的な指導を行っていると思いますか。



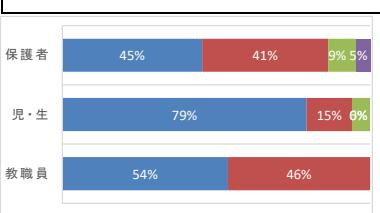
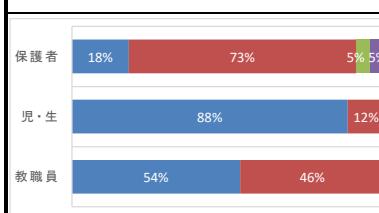
小中一貫教育の充実

22

学校は、小学校・中学校の発達段階を大切にした指導を行っていると思いますか。

23

子供は、学校を楽しいと感じていますか。



19、定期的に学校だより等を発行するとともに、学校ホームページを更新し、地域学校協働活動の取り組みを等を紹介しているが、保護者32%、児童生徒18%が否定的意見のため、更なる周知が必要である。
 20、児童生徒、保護者ともに肯定的意見である。小中一貫教育校の強みを更に活かし、小中の職員が連携したきめ細やかな学習指導を継続していく。
 21、22、児童生徒、保護者ともに90%以上が少人数の学びの良さを活かした指導、発達段階を大切にした指導について肯定的意見である。今後も校内研修等の学びの場で、教職員の指導力向上を進める。
 23、学校を楽しいと感じている児童生徒は94%である。100%を目指して、3つの満足に向けた取り組みを今後も推進する。

自由記述

○空欄が多かったと思うのですが、まだ子ども自身、分かっていない出来てない事が多いかなあと、思います。難しい項目もあり、家では苦えてるけど、学校ではどうなんだろうと言う事で空欄になりました。あと、心配しているのがアンケートにもあった、何かあつたらお友達や先生に相談出来るか、困っているお友達に声をかけてるかと言う事、家庭でも伝えてはいますが、出来ているかは分からないです。
 ○友達の事や、先生の事など、帰ってきて色々話してくれます。学校に楽しく通えているので、保護者としても嬉しく思います。今後ともよろしくお願いいたします。
 ○苦手な教科については、積極的に取組む姿勢が見られません。今回のテストの時は私達が教えるながら一緒に勉強すると理解出来たみたいでした。分からぬところを、そのままにしないで、ちゃんと質問したりして理解出来るようにとしようと話した所でした。家庭でも教えて行きますが、先生方のサポートも今後ともよろしくお願ひいたします。

下半期の具体的な取り組みについて

○児童生徒に家庭学習や家庭での読書習慣を定着させるため、個に応じた課題の提示、やる気を引き出すためのいすみんペイプロジェクトの充実を推進します。
 ○上期に引き続き、いじめ・不登校防止を掲げた学校づくり、教育相談等の取り組みを進めます。（心のアンケートやSC・SSWの活用促進、八代市教育サポートセンターとの連携等）
 ○地域学校協働活動や体験活動等により、地域の方々から学ぶ機会をより一層広げます。
 ○校内研修による授業力・指導力の向上に努めます。
 ○保護者、地域、学校で連携した登下校の安心安全に向けた取り組みを継続します。
 ○学校だよりやホームページで学校の様子や学校行事予定等を継続してきめ細やかに報道し、保護者や地域の方々が学校の情報を常に確認できる状況にします。
 ○児童生徒同士が自信を持って意見を伝え合うことができるよう、日頃から思いを語り合う場面を増やします。
 ○「学びに満足」「いのちに満足」「くらしに満足」の取り組みにより、児童生徒がより「学校が楽しい」「学校が大好き」と感じるような学校を目指し続けます。